

授業科目名 (英文名)	教育原論 (教職課程科目) (Principles of Education)	科目区分 対象学生	
単位数	2.00	開講年次・ 学期	1年次・前期
担当教員	水田 聖一	所属	非常勤講師
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>教職に関する科目 (教育の基礎理論に関する科目)</p> <p>講義目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想の理解 <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育の概念と理念について理解し、説明することができる。 ・教育の歴史の概要について理解し、説明することができる。 ・教育の思想の概要について理解し、説明することができる。 ・現代社会における教育の現状と課題を理解し、自らの視点をもって考えを述べることができる。 		
講義内容・授業計画	<p>講義内容</p> <p>教育の概念と理念並びに教育に関する歴史及び思想を講義する。それらをもとに、教育の意義、目的及び児童福祉との関連性、教育の基礎的概念と諸理論、教育の歴史、教育の制度、教育の実践、生涯学習社会における教育、現代の教育問題など各自が考えを深め広げる機会を提供する。さらに現代社会における教育事象についても理解を深める。</p> <p>授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 . 教育の歴史(古代ギリシャの教育、近代市民社会と公教育制度) 2 . 教育の歴史(新教育運動、日本の江戸時代の教育、明治時代の教育) 3 . 教育の歴史(大正自由教育、第二次大戦後の教育) 4 . 教育の理念(西洋と日本における教育思想の潮流) 5 . 教育の理念(ソクラテス、プラトン、ロック、ルソー) 6 . 教育の理念(ペスタロッチ、ヘルバルト、デューイ) 7 . 教育の理念(フレーベル、モンテッソーリ、シュタイナー、フレネ) 8 . 教育の制度(ヨーロッパ古代・中世の学校、近代的教育制度と学校体系) 9 . 教育の制度(日本の教育制度、学校運営、カリキュラムマネジメント) 10 . 教育課程(教育課程とその類型、学習指導要領の変遷) 11 . 学力論争と学力論(協働的な学び、主体的・対話的で深い学び) 12 . 特別支援教育研究の現在(歴史と理念、発達障害、学習障害、ADHD) 13 . 子どもの成長発達とその問題(認知・社会性の発達、いじめ、不登校) 14 . 子どもの生活をめぐる諸問題(児童虐待、社会力、安全教育) 15 . 家庭・地域の教育、生涯学習 16 . 評価 (到達度の確認) 		
テキスト	安彦忠彦他編「新版 よくわかる教育学原論」(ミネルヴァ書房)		
参考文献	吉田貴子・水田 聖一・生田貞子編『新・保育実践を支える保育の原理』福村出版		
成績評価の基準・方法	<p>教育の概念や理念を理解し、教育の歴史・思想について説明することができる者に単位を授与する。</p> <p>講義目的・到達目標に記載する能力 (知識・技能、思考力、判断力、表現力等) の到達度に応じてSからCまで成績を与える。</p> <p>毎回の授業後のミニレポート (30%) とプレゼンテーション(30%)定期試験 (40%) により総合的に評価する。</p>		
履修上の注意・履修要件	<p>予習としては、教育原論の教科書の語句や関連内容を理解すること。</p> <p>教育原論の教科書の内容に基づくパワーポイントを作成すること。(後半のみ)</p> <p>復習としては、教育原論の教科書の関連内容(特に人物とその思想)を整理すること。</p>		
実践的教育	該当しない		

